

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

ネイリスト専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	Wordでいろいろな印刷を行うことができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	お礼状の作成	Word お礼状の作成			
第2回	2	Gmail	メールの作成、送受信、返信、署名、添付ファイル			
第3回	3	Wordで表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	レポート作成	Word レポートの作成、表紙の挿入、ページ番号の挿入			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果、アニメーション効果、印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル、関数、表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用、ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	袋とじ印刷	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	はがき印刷	Word はがきの作成印刷			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振返り			
初回持ち物	教科書(Office2016)、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	Word 表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	画像の編集と加工	Word Officeのフォトタッチ機能			
第3回	3	図の挿入と図形の活用	Word 図の挿入と図形の活用			
第4回	4	PowerPoint復習	PowerPoint復習			
第5回	5	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第10回	10	作表とワークシートの操作	Excel オートフィルの復習、ワークシートの操作			
第11回	11	表の作成	Excel 予約表の作成			
第12回	12	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 差し込み印刷			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説			
初回持ち物	教科書、USBディスク、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシューズスキル			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ</li> <li>・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える</li> <li>・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える</li> </ul>					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	働くことの意味を考える	私たちはなぜ働くのか/マズローの欲求段階説			
第2回	2	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは			
第3回	3		怒り感情のコントロール方法(自己理解)			
第4回	4		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)			
第5回	5		クレーム対応/クレームの考え方			
第6回	6		そもそもストレスとは? ストレスの捉え方			
第7回	7	メンタルヘルス コントロール	ストレスの受け取り方/受け流し方を知っておこう			
第8回	8		幸せホルモンとセルフコントロール①			
第9回	9		幸せホルモンとセルフコントロール②			
第10回	10		自分だけのコーピングリストを作成しよう			
第11回	11		Highly Sensitive Personについて(HSP・HSS診断テスト)			
第12回	12	Highly Sensitive Personについて	HSS・HSPとの付き合い方、接し方①			
第13回	13		HSS・HSPとの付き合い方、接し方②			
第14回	14	試験	期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説/FB			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシューズスキル			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ</li> <li>・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える</li> <li>・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える</li> </ul>					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い/社会人の評価基準			
第2回	2		信用と信頼/仕事を任せてもらえる人材になるために			
第3回	3		価値基準からベネフィットの考え方を理解する			
第4回	4	成果をあげる接客テクニック	傾聴カレッジ/ベネフィットを引き出すロールプレイング①			
第5回	5		傾聴カレッジ/ベネフィットを引き出すロールプレイング②			
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る			
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション①			
第8回	8		アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション②			
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①			
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②			
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう			
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう			
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に"ありがとう"を伝える			
第14回	14	試験	後期 期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	就職ガイド			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	新山 和子					
	実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習			
第2回	2		面接練習			
第3回	3		面接練習			
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策			
第5回	5		適性検査・一般常識対策			
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策			
第7回	7		グループディスカッション練習			
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの			
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か			
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～			
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～			
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用語			
第13回	13	働くことの意義	〇〇で働くことの意義			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの			
初回持ち物	筆記用具・就職ファイル					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める (Q2A: 金4限/Q2C: 金5限/Q2D: 金5限/Q2E: 金4限/Q2F: 水1限)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め/SAM選出			
第2回	2		学校生活・補講について			
第3回	3		マシュマロチャレンジ			
第4回	4	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め/競技候補)			
第5回	5	避難訓練事前指導	避難訓練について(動画視聴)			
第6回	6	スポーツ大会	競技について話し合い(クラスTシャツ)			
第7回	7		出場競技決定			
第8回	8	コミュニケーション	クラスコミュニケーション			
第9回	9	FUSに向けて	FUSについて/FUS実行委員決め			
第10回	10	学園祭	学園祭について(実行委員決め/出し物候補)			
第11回	11		学園祭について(役割決め/作成物)			
第12回	12		学園祭について(役割決め/作成物)			
第13回	13	期末試験について	休みの過ごし方/期末試験について/夏季休業中の登校について			
第14回	14	行事準備	学園祭/スポーツ大会			
第15回	15	アンケート/振り返り	学校生活アンケート/前期振り返り			
初回持ち物	AIE/ノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	各目標決め	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め			
第2回	2	学園祭	催し物について話し合い			
第3回	3	学園祭	企画書作成			
第4回	4	学園祭	概要決め			
第5回	5	学園祭	ルール説明			
第6回	6	FUS	演出について			
第7回	7	FUS	各クラステーマ・コンセプト決め			
第8回	8	スポーツ大会	概要説明			
第9回	9	スポーツ大会	出場競技決め			
第10回	10	スポーツ大会	ルール説明			
第11回	11	FUS	ウォーキングレッスン			
第12回	12	FUS	ウォーキングレッスン			
第13回	13	FUS	ウォーキングレッスン			
第14回	14	FUS	ウォーキングレッスン			
第15回	15	アンケート	学園生活アンケート			
初回持ち物	AIEノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験	就職活動、社会人としての理解を深める		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイルケア			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	3 単位	後期	6 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位	前期	6 単位	後期	2 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	平光真理 川添ゆり香					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実も。経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく			
目的及び概要	・ネイル技術の根幹である「ネイルケア&カラーリング」の安定した技術力と応用力を身につけ、サロンワークを意識して、お客様に満足していただけるカウンセリング力、仕上がりを目指します。					
到達目標	爪に対する専門的な知識を身に付け、カウンセリングが実践できるように専門知識の幅を広げること为目标とし、知識と技術のバランスをつける。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	イクステンションに必要なケア	JNEC1級受験に向け、プレパレーションの見直し			
第2回	7-12	総合トレーニング	ネイルケア～アクリルイクステンション (タイムトライアル)			
第3回	13-18					
第4回	19-24					
第5回	25-30					
第6回	31-36					
第7回	37-42	検定対策	総合トレーニング			
第8回	43-48					
第9回	49-54					
第10回	55-60					
第11回	61-66	総合トレーニング	サロンスタイルでの練習			
第12回	67-72					
第13回	73-78					
第14回	79-84					
第15回	85-90					
初回持ち物	1級教材一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイルケア			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	3 単位	後期	6 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位	前期	6 単位	後期	2 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	平光真理 川添ゆり香					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実も。経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく			
目的及び概要	・ネイル技術の根幹である「ネイルケア&カラーリング」の安定した技術力と応用力を身につけ、サロンワークを意識して、お客様に満足していただけるカウンセリング力、仕上がりを目指します。					
到達目標	爪に対する専門的な知識を身に付け、カウンセリングが実践できるように専門知識の幅を広げること为目标とし、知識と技術のバランスをつける。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	イクステンションに必要なケア	JNEC1級受験に向け、プレパレーションの見直し			
第2回	3・4	総合トレーニング	ネイルケア～アクリルイクステンション (タイムトライアル)			
第3回	5・6					
第4回	7・8					
第5回	9・10					
第6回	11・12	検定対策	総合トレーニング			
第7回	13・14					
第8回	15・16					
第9回	17・28					
第10回	29・20	総合トレーニング	サロンスタイルでの練習			
第11回	21・22					
第12回	23・24					
第13回	25・26					
第14回	27・28					
第15回	29・30					
初回持ち物	1級教材一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名	ネイル検定対策			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	9 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位	前期	7 単位	後期	8 単位	2年合計単位	15 単位
担当講師	内山美代志・平光真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	基本のネイルケア、カラーリングから応用となるジェルネイルデザイン、イクステンション、アクリルイクステンションの技術を身に付け、目標タイム内に仕上げられるよう学習します。					
到達目標	○公益財団法人日本ネイリスト検定センター(JNEC)2・1級 合格 ONPO法人日本ネイリスト協会ジェルネイル技能検定中・上級 合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-7	ジェル検定中級対策	検定概要・合格基準の確認			
第2回	8-14		ジェルフレンチ			
第3回	15-21		ジェルグラデーション			
第4回	22-28		ジェルイクステンション			
第5回	29-35		総合トレーニング・タイムトライアル			
第6回	36-42		総合トレーニング・タイムトライアル			
第7回	43-49	ネイリスト検定1級対策	検定概要・合格基準の確認			
第8回	50-56		アクリル理論・ミクスチャーの形成			
第9回	49-63		フォーム及びチップ合わせ方			
第10回	64-70		アクリルスカルプ			
第11回	71-77		チップオーバーレイ			
第12回	78-84		ミックスメディアアート			
第13回	85-91		総合トレーニング・タイムトライアル			
第14回	92-98		総合トレーニング・タイムトライアル			
第15回	99-105		総合トレーニング・タイムトライアル			
初回持ち物	筆記用具、ジェル検定中級で使用する道具一式					
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイル検定対策			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	9 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位	前期	7 単位	後期	8 単位	2年合計単位	15 単位
担当講師	内山美代志・平光真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	○公益財団法人 日本ネイリスト試験センター(JNEC)1級内容習得 ○NPO法人 日本ネイリスト協会 ジェルネイル技能検定試験中級、上級内容修得					
到達目標	爪に関する専門的な知識を身につけ、カウンセリングが実践出来るよう、専門知識の幅を広げることを目標とし、技術と知識のバランス力をつける。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-8	JNEC1級検定対策	総合トレーニング、試験前仕込み			
第2回	9-16		試験前総合トレーニング			
第3回	17-24					
第4回	23-32	上級検定について	試験内容の確認・デモンストレーション			
第5回	33-40	JNEC1級検定対策	試験前総合トレーニング			
第6回	41-48	JNAジェル検定上級対策	フォーム理論			
第7回	49-56		ジェルスカルプチュア、ジェルチップオーバーレイ			
第8回	57-64		フレンチ、フラワーアート			
第9回	65-72	総合トレーニング	総合トレーニング			
第10回	73-80		総合トレーニング(タイムトライアル)			
第11回	81-88		苦手練習			
第12回	89-96	苦手総合	総合トレーニング(タイムトライアル)			
第13回	87-104		総合トレーニング(タイムトライアル)			
第14回	105-112		総合トレーニング(タイムトライアル)			
第15回	113-120		総合トレーニング(タイムトライアル)			
初回持ち物	初回は2級検定道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イクステンション			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	3 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	3 単位	後期	6 単位	2年合計単位	9 単位
担当講師	内山美代志・益子結花					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	お客様の爪の状態や要望に合わせたネイル形成とアクリル、ジェルの特徴をいかした技法を学習する。					
到達目標	ジェルイクステンション、アクリルスカルプ、チップオーバーレイの技法の習得。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	ジェルイクステンション	プレパレーション・フォーム合わせ・フォルム確認			
第2回	4-6		ハンドにて練習			
第3回	7-9		相モデルにて練習			
第4回	10-12	アクリルスカルプ	ミクスチャー形成			
第5回	13-15		フォーム理論			
第6回	16-18		ハンドにてアプリケーション練習			
第7回	19-21		ハンドにてアプリケーション練習			
第8回	22-24		ファイリング練習			
第9回	25-27		ハンド5本フォルム合わせ			
第10回	28-30		相モデルにて練習			
第11回	31-33	チップオーバーレイ	チップ合わせ			
第12回	34-36		ハンドにてアプリケーション練習			
第13回	37-39		相モデルにて練習			
第14回	40-42	イクステンション総合	アクリルスカルプ・チップラップのフォルム合わせ			
第15回	43-45		アクリルスカルプ・チップラップのフォルム合わせ			
初回持ち物	筆記用具、ジェルイクステンションに使用する道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イクステンション			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	3 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	3 単位	後期	6 単位	2年合計単位	9 単位
担当講師	内山美代志・益子結花					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	基本のネイルケア、カラーリングから応用となるジェルネイルデザイン、イクステンション、アクリルイクステンションの技術を身に付け、目標タイム内に仕上げられるよう学習します。					
到達目標	○公益財団法人日本ネイリスト検定センター(JNEC)2・1級 合格 ○NPO法人日本ネイリスト協会ジェルネイル技能検定中・上級 合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	ジェル検定中級対策	検定概要・合格基準の確認			
第2回	7-12		ジェルフレンチ			
第3回	13-18		ジェルグラデーション			
第4回	19-24		ジェルイクステンション			
第5回	25-30		総合トレーニング・タイムトライアル			
第6回	31-36		総合トレーニング・タイムトライアル			
第7回	37-42	ネイリスト検定1級対策	検定概要・合格基準の確認			
第8回	43-48		アクリル理論・ミクスチャーの形成			
第9回	49-54		フォーム及びチップ合わせ方			
第10回	55-60		アクリルスカルプ			
第11回	61-66		チップオーバーレイ			
第12回	67-72		ミックスメディアアート			
第13回	73-78		総合トレーニング・タイムトライアル			
第14回	79-84		総合トレーニング・タイムトライアル			
第15回	85-90		総合トレーニング・タイムトライアル			
初回持ち物	筆記用具、ジェル検定中級で使用する道具一式					
成績評価方法	・出席率	定期試験	筆記試験			
	・定期試験や小テスト		○ 実技試験			
	・授業参加意欲		課題・プレゼンテーション(提出物)			
成績評価 基準(右合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アート			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	吉橋 友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	様々なネイルアートの技法を学び、高度な作品表現をしていきます。基礎から応用テクニックまでを習得し、サロン運営で求められる色の選択や最適なデザインの提案ができることを目標としています。					
到達目標	JNEC1級の試験課題でもあるミックスメディアアートをテーマに沿って、自由に表現できる					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JNAテクニカルシステム ベーシック ・ JNAテクニカルシステム アドバンス					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	カラーリング	肌色にあった色を選び、塗る(ポリッシュアート)			
第2回	4-6	色彩学	12色相環をつくり、色の基礎知識を学ぶ			
第3回	7-9	ジェルアート	ドラックアートバリエーション			
第4回	10-12		マーブル・タイダイ・グラデーション			
第5回	13-15		フレンチ・変形フレンチ			
第6回	16-18		チェック・ツイード			
第7回	19-21		オリジナル作品作成①			
第8回	22-24		オリジナル作品作成②			
第9回	25-27		オリジナル作品作成③			
第10回	28-30	エンボス	お花			
第11回	31-33		お花(5枚花)			
第12回	34-36		お花バリエーション			
第13回	37-39	3Dアート	お花(5枚花)			
第14回	40-42	期末試験	期末試験			
第15回	43-45	3Dアート	ミックスメディアアート			
初回持ち物	JNAテクニカルベーシック・JNAテクニカルジェル・ネイル検定用具一式・筆記用具・はさみ・サインペン(細い)・セロハンテープ					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アート			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	吉橋 友菜					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	○公益財団法人 日本ネイリスト試験センター(JNEC)1級内容習得 ○NPO法人 日本ネイリスト協会 ジェルネイル技能検定試験中級、上級内容修得					
到達目標	○サロンワークで通用する実践アートワーク					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JNAテクニカルシステム ベーシック ・ JNAテクニカルシステム アドバンス					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	JNEC1級検定対策	試験前アートトレーニング			
第2回	4-6					
第3回	7-9	ジェルネイル検定上級対策	アート、フレンチデモンストレーション			
第4回	10-12		上級アートトレーニング:フレンチ			
第5回	13-15		上級アートトレーニング:フラワー			
第6回	16-18		上級アート総合トレーニング			
第7回	19-21		サロンワークスタイル・プレパレーション			
第8回	22-24		サロンワークスタイル・アート			
第9回	25-27	サロンアート実習	デザイン画/テーマ制作			
第10回	28-30		アート制作			
第11回	31-33		アート制作			
第12回	34-36	卒業作品制作				
第13回	37-39					
第14回	40-42					
第15回	43-45					
初回持ち物	1級道具一式					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ネイルサロン運営			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	6 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	吉橋 友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っている講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	学内サロン運営を目的とした実習授業です。授業内では実際のサロンと同様にお客様をお迎えしてからのカウンセリング、技術の提供、再来店への誘導などを一連の流れに沿って実践します。実際のサロンを運営することで社会性と実践力を身に付けます。					
到達目標	ネイリストとして少しでも早く戦力になれるように、カウンセリング力と技術を身につける					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	ネイルサロンとは	目的、目標、ネイルサロンとは、ネイリストの働き方			
第2回	4-6	接客について・サロンワークアート	カウンセリングについて、チップ作成のやり方、アート練習①			
第3回	7-9		カルテの書き方、アート練習②			
第4回	10-12		売上管理目標の立て方、アート練習③			
第5回	13-15		タイム管理、アート練習④			
第6回	16-18		サロン運営準備	SNS運用について		
第7回	19-21	サロン運営メニュー表内容について				
第8回	22-24	期末試験準備				
第9回	25-27	期末試験	期末試験チップ			
第10回	28-30	サロン運営準備	メニュー表作成			
第11回						
第12回						
第13回						
第14回						
第15回						
初回持ち物	時計(できれば針時計)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○ 課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249~200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199~150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名	ネイルサロン運営			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	6 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	吉橋 友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	学内サロン運営を目的とした実習授業です。授業内では実際のサロンと同様にお客様をお迎えてからのカウンセリング、技術の提供、再来店への誘導などを一連の流れに沿って実践します。実際のサロンを運営することで社会性と実践力を身に付けます。					
到達目標	ネイリストとして少しでも早く戦力になれるように、カウンセリング力と技術を身につける					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	サロンの仕組み	店の運営、料金設定・仕入れ、店の動線、役割を決めてロールプレイング			
第2回	7-12	作品作り	定額制デザインの作成 写真撮影(SNS宣伝用、店のデザイン)			
第3回	13-18					
第4回	19-24					
第5回	25-30	相モデル練習	相モデルとなり、接客から施術の練習			
第6回	31-36					
第7回	37-42	技術復習	1. ハンドケア・マッサージ 2. ネイルケア・カラーリング 3. ジェルネイル 4. リペア 5. ジェルオフ			
第8回	43-48	実践練習 相モデル練習	相モデルとなり、接客から施術まで一連の流れを練習			
第9回	49-54					
第10回	55-60					
第11回	61-66					
第12回	67-72	サロン運営①	サロン運営本番 1回目			
第13回	73-78	振り返り①	サロン運営1回目の振り返り・今後に活かすこと			
第14回	79-84	サロン運営②	サロン運営本番 2回目			
第15回	85-90	振り返り②	サロン運営の振り返り・今後に活かすこと			
初回持ち物	使用教材一式、前期使用ノート					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	カラーデコレート			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	2 単位	後期	-	2年合計単位	2 単位
担当講師	岡永めぐみ					
	実務経験	有	パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数所有し、ブライダルの分野では新郎新婦のパーソナルカラー診断や希望に応じたブーケや小物に至るものをデザイン、制作しトータルでカラーコーディネートを担当しているため、より実践			
目的及び概要	ブライダルにおいて必要となるカラーの知識を講義だけでなく、ブーケや和装に使われる水引、会場装飾を実際に作ることで、実践的な知識を身につけていきます。お花や水引の様々な色の中からどの色を選ぶかという「配色」を重点的に学び、イメージに合った配色が出来ているかをそれぞれが作った作品を通してクラス全員で共有しながら、ウエディングブーケや水引の技術も習得していきます					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なりたいイメージや体型、ドレスに合ったブーケを作る事が出来る</li> <li>・ブライダルにおける水引の決まりを理解し、結び方をマスター出来ている</li> <li>・色彩心理を理解し、その知識を生かしながらオーダー通りの作品を作ることが出来る</li> </ul>					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-2	リボンワーク	様々なリボンの形を理解し、実際に作成する			
第2回	3-4	色彩心理を理解する	1年次に行った色彩心理の復習と2色の配色展開			
第3回	5-6	配色	アンダートーン配色・イメージ別配色1			
第4回	7-8	配色	イメージ別配色2			
第5回	9-10	配色	シーン別の配色・配色ゲーム			
第6回	11-12	配色	自分の好きなイメージのブライダル配色提案/ボード作成			
第7回	13-14	配色	ボード作成/発表			
第8回	15-16	ブライダルジュエリーの基本	ブライダルジュエリーの基本や注意点を知る			
第9回	17-18	ブライダルジュエリーの実践	基本をもとに実際ジュエリーを身に着けコーディネートを皆でシェアする			
第10回	19-20	水引	水引の決まりを理解する			
第11回	21-22	水引	あわじ結び・梅結び			
第12回	23-24	個人制作/試験	作業手順の説明/試験			
第13回	25-26	個人制作	卒業制作			
第14回	27-28	個人制作	卒業制作			
第15回	29-30	個人制作 発表	発表と総括			
初回持ち物	筆記用具、色彩活用パーソナルカラー検定3級の教科書・カラーカード・ハサミ・のり					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	パーソナルカラー検定対策			クラス名	Q2F	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	-	2年合計単位	2 単位
担当講師	色彩活用研究所(株) 黒川裕子					
	実務経験	有	色彩やパーソナルカラーを教える講師として、各種専門学校やセミナーなどで、楽しく実践的にを大切に数多くの講座を担当している。色彩検定では奨励賞を受賞するなど実績を積んでいる。			
目的及び概要	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学びます。自分の似合う色を通して、自分らしい魅力を確認していきます。パーソナルカラーの探し方や活かし方、自分で似合う色を選べるための色彩の基本を座学とカラーワーク演習などで身に付けていきます。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施し理解度の確認をしていきます。					
到達目標	色彩活用パーソナルカラー検定3級取得を目指す。 色彩の基本、パーソナルカラーの技術を身につけ、美容業界で生かせるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集、過去問題					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-2	オリエンテーション 色彩の基本①	パーソナルカラーを学ぶ意義 パーソナルカラーとは何か。色の三属性			
第2回	3-4	色彩の基本②	トーン			
第3回	5-6	パーソナルカラーの色分類①	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について			
第4回	7-8	パーソナルカラーの色分類②	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について			
第5回	9-10	色名・色素とは	色名、色素について			
第6回	11-12	色素と似合う色の関係①	色素の見方①			
第7回	13-14	色素と似合う色の関係②	色素の見方②・まとめ(自分の色素を知る)			
第8回	15-16	似合う色と似合わない色	似合う色と似合わない色の見え方、色と光の関係			
第9回	17-18	ドレーピング実習	ドレーピング実習			
第10回	19-20	似合う色の見え方の理由	客観的な見え方について(対比・同化、面積効果)			
第11回	21-22	似合う色の取入れ方	似合う色の取入れ方、ポイント			
第12回	23-24	検定対策①	期末テスト、検定に向けて総まとめ①			
第13回	25-26	検定対策②	期末テスト、検定に向けて総まとめ②			
第14回	27-28	期末テスト	期末テスト			
第15回	29-30	期末テスト返却・振り返り	返却・振り返り・検定対策			
初回持ち物	色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集 新配色カード199b、新配色カード199用演習用台紙(通称:トーンマップ)、はさみ、のり、筆記用具、ノート類					
成績評価方法	出席率	定期試験	○		筆記試験	
	定期試験や小テスト				実技試験	
	授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				